



“ワクワク”が生まれる ライフスタイルを重視した家づくり

株式会社福遼建設 代表取締役 福留 真治氏

徹底した主婦目線で 競合他社と差別化

福岡市の地価（住宅地）は、2019年まで6年連続で上昇。それに伴って戸建て価格も高騰し、年収300～500万円世帯がボリュームゾーンと言われる福岡において、マイホームは遠い存在になりつつあります。そこで低コストながらも顧客満足度の高い家づくりを提案しているのが、福岡市東区松島の株式会社福遼建設です。

創業当時は公共事業などに取り組んでいましたが、資材高騰などから住宅業界へと転身しました。実績もなかった福遼建設が手始めにトライしたのは、競合他社との差別化。検討を重ねた結果、生まれたのが『Mom』という商品です。

代表取締役の福留真治さんは「競合他社がひしめく中で競争力も低い状態。早急に差別化が必要でした。そこで家族を思い浮かべた時、ママが笑顔でいられる家であれば、家族が幸せに過ごせるのではないかと考えました。まずは主婦モニターを募り、モデルハウスをつくったのです」と振り返ります。

ひと月に払えるローンからモデルハウスの予算を設定。主婦モニターの意見を活かしながら『Mom』のコンセプトである“主婦と造る家”を確立しました。その特徴は大きく4つ。過剰な仕様や設備を抑えることで実現した“低コスト”、“機能的な生活動線”、コンパクトにまとめたリビングで“家族が集まる空間”づくり、“余裕の収納”。いずれも“ママ”をサポートし、笑顔にする仕掛

けです。

「例えば洗濯機から物干し場への距離を短くする、子どもの入浴を見守るためにキッチンからバスルームが見通せる設計にするなど、細かいことかもしれませんが、重労働の家事負担を減らすためには大切なこと」。

加えて耐震面では耐震等級2を達成。これは建築基準法で定められた強度（耐震等級1相当）の1.25倍です。

「職人による品質の波を防止するために、建設中には外部の検査会社による品質チェックを何度も行います。常に同じ品質を担保することが、安全な家づくりにつながる」と福留さん。

また、さらにコストを抑えるためセミナーの『Mom fit』シリーズも開発するなど、家づくりの夢を叶えるための

【プロフィール】

鹿児島県出身。高校卒業後、ゼネコンに就職しビルの建設や公共工事に携わる。フリーランスを経て2006年に株式会社福遼建設を創業し、住宅業界に進出。独自の視点から“楽しめる空間”である家づくりを提案する。



1 カリフォルニアスタイルにまとめられた展示場のインテリア。家具やアート作品などコーディネートに参考にする人も多い

3 営業車もカリフォルニアスタイルのカラーリング。イベント時には一緒に記念撮影をする人がいるほど人気で、宣伝活動に役買っている

2 ヴィンテージ風のインテリアでまとめるブルックリンスタイルも提案可能。展示場内では家具の購入先なども紹介している

4 西海岸の街並みを思わせるカリフォルニアスタイル住宅の外観。フェンスや看板、庭のづくりなどにもこだわりが詰まっている

事業を展開しています。

スタイルに合わせた 楽しむ家づくりを

福遼建設の商品である『Mom』『Mom fit』の根底には顧客目線のほかに、“ワクワクしながら家づくりを楽しんでほしい”という願いがあります。

「住宅は性能も大切ですが、暮らしを楽しくするもの。生活を快適にすることはもちろん、もっとライフスタイルに合わせた家づくりが必要です」。

そうして新たに商品化したのがカリフォルニアスタイルの家づくり。青と白を基調としたアメリカ西海岸を想起させるビーチテイストや、ヴィンテージ感のあるインテリアを配したアメリカンカジュアルティストの家で、20～30代を中心に人気を集めています。

「サーフィンが好きだったら屋外にシャワーを取り付けたり、バイクが好きだったらガレージを充実させる。カリフォルニアスタイルのデザインだけではなく、住む人が家で過ごす時間を楽しめるような提案をしています」と福留さん。

また今年4月には、福岡市東区大岳

にカリフォルニアスタイルのモデルハウスと分譲住宅を建設。新たなPR方法としてSNSを活用し、写真をメインに集客を実施しました。こうしたさまざまな取り組みが奏功し、立地的には福岡中心部を外しているものの、半年間で来場は300組以上。大分や佐賀など遠方からの来場者も多く住宅も完売しました。

“気付き”への努力が 時代に対応するカギ

福留さんがカリフォルニアスタイルを勧める理由のひとつに、“デュアラー”というライフスタイルを挙げています。都市部で働き郊外に住むという二拠点生活のことを意味し、これが生活を豊かにすると強調します。

「地価が高騰している福岡でも通勤時間を少し妥協し郊外での暮らしを選択すれば、コストを抑えらるとともに暮らしにオン・オフをつくれるカリフォルニアスタイルの家づくりが可能になります。家を建てるのならワクワクしながら楽しんでほしい」。

また今年3月には実際にカリフォルニアを視察した福留さん。色々な文化、ブ

ランドが生まれたこの土地には、型通りのスタイルではなく、住む人の個性に合わせた家々が並んでいたと言います。そのため今後の目標は、福遼建設のオリジナリティを創出すること。それはメイドインジャパンの日本人に合ったカリフォルニアスタイルの確立だと意気込みます。

家づくりのコンセプト、集客方法など、新しい視点を取り入れてきた福遼建設。

「今までと同じことをしていても人は集まらないし、物も売れない。人とは違うこと、新しいことに気付こうとする努力が成功への道」。



株式会社福遼建設

〒813-0062 福岡市東区松島4-10-26
TEL 092-623-1213
<http://fukuryou.co.jp/>